



安全データシート

作成日 : 2010年 2月18日

改訂日 : 2017年 5月31日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : シーカ® コントロール
会社名 : 日本シーカ株式会社
住所 : 神奈川県平塚市長瀬1-1 (〒254-0021)
担当部門 : 管理&EHSグループ
電話番号 : 0463-24-4976
FAX番号 : 0463-23-2229
緊急連絡電話番号 : 0463-24-4976
整理番号 : 2131

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 区分外
健康に対する有害性 : 分類できない
環境に対する有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : なし

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。

【応急措置】

飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚についた場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

【保管】

密閉容器に保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 単一製品
成分及び含有量 : ポリオキシアルキレンアルキルエーテル
官報公示整理番号(化審法) : 7-97
官報公示整理番号(安衛法) : 既存
CAS番号 : 9063-06-3
危険有害成分 : なし

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
必要に応じて医師の診断/手当てを受けること。
皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
必要に応じて医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

- 必要に応じて医師の診断／手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候 : 特になし
- 応急措置をする者の保護 : 救助者はゴム手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水
- 使ってはならない消火剤 : 棒状水
- 火災時の措置に関する特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有害ガスが含まれるので、消火作業の際には煙の吸入を避ける。
- 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は可能限り風上から行う。周囲の設備などに散水して冷却する。関係者以外は安全な場所に退避させる。消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
作業の際には必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。
多量の場合は、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等によく拭き取る。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
- 二次災害の防止策
付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
火花を発生しない安全な用具を使用する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。
漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
眼及び皮膚への接触を避けること。
- 安全取扱い注意事項 : 火気厳禁。作業場の換気を十分行う。
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
- 保管
- 安全な保管条件 : 換気のよい屋内で保管すること。密閉容器に保管すること。火気厳禁。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼および身体洗浄のための設備を設置する。
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

管理濃度 : 未設定
許容濃度

日本産業衛生学会 : 未設定
ACGIH : 未設定

保護具

呼吸用保護具 : 通気がよくない場合は、有機ガス用防毒マスクを着用する。
手の保護具 : 不浸透性(耐薬品、耐油、耐溶剤)保護手袋
眼の保護具 : 側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 無色液体
臭い : わずかに特有な臭いを有する。
pH : 6.0~7.5 (50%エタノール/水溶液)
融点・凝固点 : -50°C以下
沸点、初留点及び沸騰範囲 : 245~255°C
引火点 : 137°C (COC)
発火点 : 情報なし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限 : 情報なし
蒸気圧 : 情報なし
密度 : 1.01~1.06 g/cm³ (20°C)
溶解度 : 水に可溶
粘度 : 4.6mm²/s(50°C)
分解温度 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 強酸化剤と反応してパーオキシドを生成する可能性がある。
化学的安定性 : 通常の手扱いは安定。高温で有機酸と反応してエステルを生成する。
危険有害反応可能性 : 情報なし
避けるべき条件 : 混触危険物との接触
混触危険物質 : 強酸化剤
危険有害な分解生成物 : 通常の手扱いは安定。高温で有機酸と反応してエステルを生成する。

11. 有害性情報

急性毒性 : 情報なし
皮膚腐食性/刺激性 : 情報なし
眼刺激性 : 情報なし
感作性 : 情報なし
変異原性 : 情報なし
発がん性 : 情報なし
生殖毒性 : 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性 : 情報なし
残留性・分解性 : 情報なし
生態蓄積性 : 情報なし
土壌の移動性 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器・包装の廃棄方法 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類 : 国連勧告の定義上危険物に該当しない。

国内規制

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。
火気厳禁。

15. 適用法令

消 防 法 : 危険物第4類第3石油類 水溶性液体 危険等級Ⅲ 火気厳禁

労働安全衛生法 : 該当しない

化学物質管理促進法(PRTR法) : 該当物質なし

毒劇物取締法 : 該当しない

船舶安全法 : 該当しない

航 空 法 : 該当しない

16. その他の情報

引用文献

- ・GHS対応ガイドライン 安全データシート作成指針 2012年6月
一般社団法人 日本化学工業協会
- ・GHS分類結果データベース、独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ

この安全データシートに記載されている内容は、発行時における当社の最新の知識によるものですが
当社はその内容につき何らの保証をなすものではありません。

保証については、当社の最新の一般販売条件が適用されます。

製品を使用または適用する前に、必ずプロダクトデータシートをご検討下さい。

発行変更履歴

作成日 : 2010年 2月18日

改訂日 : 2017年 5月31日(R-1)